

DJ-DPS70 DCR-PRO仕様のエアクローン操作 説明書

DJ-DPS70のうち「DCR-PRO」と印字されたラベルが正面上部に貼られたもの、製造番号がM1から始まるもの、はマスター機のセットモード項目やユーザーコードなどの設定を全て、任意の台数の子機に一度で無線クローンできる「エアクローン」機能を搭載しています。多数の無線機を同じ設定にして使うことが多い業務ユーザーには大変便利な機能です。

【対応機種の判別方法】

「DCR-PRO」ラベルが貼られていない物でもエアクローンに対応する製品が存在します。以下の方法で確認してください。

- ・「機能」「▼」「戻る」の3つのキーを同時に押したまま電源を入れます。

機種名表示の後に指を放して“【エアクローン】短縮長押しで送信[CH**]”、が表示されたら対応機種です。

- ・何も出ない、または「まだ～～」のようなメッセージが出るものは未対応です。未対応のロットについては後述の方法で更新できます。

【操作方法】

- ・マスター機にする1台に、必要な設定を行います。編集用ソフト「DJ-DPS70 クローンユティリティ」と別売ケーブルERW-7, EDS-14を使うと顧客ごとの設定データ管理ができます。

- ・クローンに掛かる時間は45～50秒程度です。予め、最低限の通信ができる程度の充電をしておきます。

- ・マスター機も子機も全て、「機能」「▼」「戻る」の3つのキーを同時に押したまま電源を入れ、機種名表示の後に指を放して“【エアクローン】短縮長押しで送信[CH**]”、を表示させます。▼▲キーを使って全てを空いた同じチャンネル番号に合わせます。

= 重要 =

- ・15chは呼び出しチャンネルです。絶対に使わないでください。エアクローン時のデータ送信出力は1Wです。しっかりと電波が届く範囲にあるS70なら何台でも同時にクローンできます。総合通信局は、デジタル簡易無線登録局のデータ通信には26～30chの使用を推奨されています。

- ・子機側は何もしません。マスター機の「短縮」キー（PTTの下のキー）を2秒間程長押しすると送信が始まり、「データ送信中」「データ受信」と、進行状態が表示されます。

- ・クローンが成功するとマスター機は「データ送信完了」、子機は「データ受信完了」を表示してピープ音を2回鳴らします。子機の電源を入れなおして設定が正しくクローンされ

ているか確かめます。作業が終わったら電源を切ります。

【エラーについて】

- ・マスター機の送信中に再度短縮キーを長押しすると、クローンを中止できます。
- ・クローンが中断されたり失敗したりした子機は「データ受信失敗」と表示されます。改めてマスター機の短縮キーを長押しして送信すると、最初からクローンを再開します。短縮キーを押すタイミングによっては子機が反応しなかったり、ピープ音が鳴ったりすることがありますが異常ではありません。少し間をおいてリトライしてください。
- ・失敗した状態で子機の電源を切り、再度電源を入れると「受信失敗したからもう一回最初から送り直してください」と表示されます。マスター機の短縮キーを長押しすると最初からクローンを再開します。
- ・エラー状態の子機でも、電源を切って「短縮」と「戻る」キーを同時に押しながら電源を入れて「機能」キーを押すリセットをすれば初期状態で起動します。クローンエラーが無線機の故障の原因になることはありません。

【未対応の機種を更新】

ご依頼があれば運賃のみ往復自己負担していただければ、同様の仕様になるようにファームウェア更新を致します。製品保証の有無は問わず無償です。更新後は最低限の確認のみ行い、正常に動作している限り一切の点検調整は行いません。DCR-PROラベルも貼付いたしません。

宛先：

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4-9

淀屋橋ダイビル 13F

アルインコ 電子サービスセンター S70係

電話 0120-464-007

発送は無線機本体のみで結構です。返送時の梱包が大きくなると返却時の運賃も高くなるのでかさばるS70の化粧箱は使わず、電池やアンテナなど一切の付属品も送らないでください。メモに「ファームウェア更新」と、返却先のお名前、ご住所、お電話番号、ヤマト便で着払いの運賃を払える曜日、時間指定（到着日指定は不可）を記載して添付、エアキャップシートなどで保護してお送りください。1～5台であれば5営業日+往復の運送時間以内で対応ができますが、まとまった台数ですと一括でお返しするには時間が掛かります。多数を一度に更新されたいときは予め上記のサービスセンターのフリーダイヤルに、納期についてお問い合わせください。（平日10～12時、13～17時）

以上